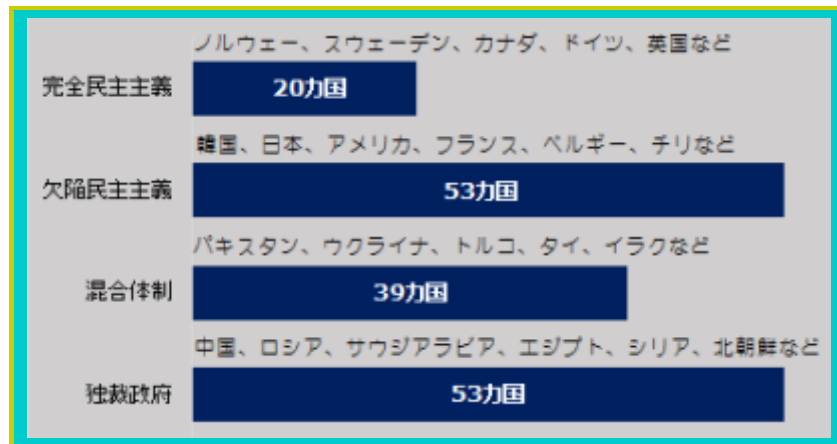




春海二郎さんの「むささびジャーナル」415号（2019年1月20日 発行）より

The Economist グループの研究機関である Economist Intelligence Unit (EIU) が毎年発表する世界民主主義指数 ([Democracy Index](#))の 2018 年版が発表されています。世界の 167 か国における民主主義の浸透状況を報告しているのですが、「公明な選挙による複数政党の政治」、「機能する政府」、「国民による政治参加」、「民主的な政治文化」、「市民的自由」の 5 つのカテゴリーにおける進み具合を 10 点満点で指数化している。EIU はまた調査対象となっている国を完全民主主義(full democracy)、欠陥民主主義(flawed democracy)、混合体制(hybrid regimes)、独裁体制 (authoritarian regimes)という 4 つのカテゴリーに分類している。それぞれのカテゴリーに属する国の数は次のようになっている。



●**完全民主主義(full democracy)**:政治的・社会的な自由や 3 権分立、報道の自由などが確保されている。ノルウェー、アイスランド、スウェーデンを筆頭に 20 か国がこのグループに入るけれど、そのうち欧州でない国はニュージーランド(17 位)、カナダ(6 位)、オーストラリア(9 位)など 6 か国だけ。特に北欧諸国はすべてトップ 10 に入っている。ドイツは 13 位、英国は 14 位。EIU では「完全な民主主義体制」を享受しているのは世界の人口の 4.5%だけだと言っている。

●**欠陥民主主義(flawed democracy)**:政治的・社会的な自由が確保され、公正な選挙が実施され、報道の自由なども確保されているが、統治機能に問題があり、市民による政治参加意識も弱いとされる。全部で 53 か国あるうちのトップ 10 は韓国、2 位が日本、3 位はチリなどとなっており、アメリカ、フランス、ベルギーなどもこのグループに入っている。

●**混合体制(hybrid regimes)**:選挙の公正性が疑わしく、反政府勢力に対する弾圧が激しい。汚職もかなり普通に行われ、司法の独立や報道の自由も確保されていない。アルバニア、パキスタン、イラク、ウクライナ、トルコ、タイなどまで全部で 39 か国ある。

●**独裁体制(authoritarian regimes)**:複数政党による二元的な政治体制が欠如し、報道機関は国家が管理、司法の独立も存在しない。53 か国がこの範疇にはいる。中国(全体の 130 位)、ロシア(144 位)、サウジアラビア(159 位)で全体の最下位(167 位)は北朝鮮、最下位から 2 番目にはシリアが来ている。

完全民主主義	欠陥民主主義	混合体制	独裁政府
1 Norway	21 S. Korea	76 Albania	115 Jordan
2 Iceland	22 Japan	77 El Salvador	116= Mozambique
3 Sweden	23= Chile	78 Macedonia	116= Kuwait
4 New Zealand	23= Estonia	79= Moldova	118 Myanmar
5 Denmark	25 USA	79= Fiji	119 Mauritania
6= Canada	26 Cabo Verde	81= Montenegro	120 Niger
6= Ireland	27 Portugal	81= Benin	121 Comoros
8 Finland	28 Botswana	83 Bolivia	122 Nicaragua
9 Australia	29 France	84 Ukraine	123 Angola
10 Switzerland	30 Israel	85 Honduras	124 Gabon
11 Netherlands	31 Belgium	86 Zambia	125 Cambodia
12 Luxembourg	32 Taiwan	87 Guatemala	126 Algeria
13 Germany	33 Italy	88 Bangladesh	127 Egypt
14 UK	34 Czech Rep	89 Georgia	128= Ethiopia
15 Uruguay	35 Cyprus	90 Malawi	128= Rwanda
16 Austria	36= Slovenia	91= Tanzania	130 China
17 Mauritius	36= Lithuania	91= Mali	131 Congo
18 Malta	38 Latvia	93 Liberia	132 Cameroon
19 Spain	39 Greece	94 Bhutan	133 Qatar
20 Costa Rica	40 S. Africa	95 Madagascar	134= Zimbabwe
	41 India	96 Uganda	134= Venezuela
	42 Timor-Leste	97 Nepal	136 Guinea
	43 T. & Tobago	98= Kenya	137 Belarus
	44 Slovakia	98= Kyrgyz Republic	138 Togo
	45 Panama	100 Morocco	139 Vietnam
	46 Bulgaria	101 Bosnia & H.	140 Oman
	47= Argentina	102 Haiti	141 Swaziland
	47= Jamaica	103 Armenia	142 Cuba
	49 Suriname	104 Burkina Faso	143 Afghanistan
	50 Brazil	105 Sierra Leone	144= Kazakhstan
	51 Colombia	106= Lebanon	144= Russia
	52 Malaysia	106= Thailand	146 Djibouti
	53 Philippines	108 Nigeria	147 U.A. Emirates
	54= Poland	109 Palestine	148 Bahrain
	54= Guyana	110 Turkey	149 Azerbaijan
	56 Lesotho	111 Gambia	150 Iran
	57= Ghana	112 Pakistan	151= Eritrea
	57= Hungary	113 Ivory Coast	151= Laos
	59 Peru	114 Iraq	153 Burundi
	60 Croatia		154 Libya

61 Dominican Republic	155 Sudan
62 Mongolia	156 Uzbekistan
63= Serbia	157 Guinea-Bissau
63= Tunisia	158 Yemen
65 Indonesia	159= Saudi Arabia
66= Singapore	159= Tajikistan
66= Romania	161 Eq. Guinea
68 Ecuador	162 Turkmenistan
69 Namibia	163 Chad
70 Paraguay	164 Central African Rep
71= Sri Lanka	165 D Rep. Congo
71= Mexico	166 Syria
73= Hong Kong	167 North Korea
73= Senegal	
75 Pap.N.Guinea	

ちなみに上記のうちトップのノルウェーの指数は 10 点満点の 9.87、英国は 8.53、韓国は 8、日本は 7.99、アメリカ 7.96 などとて、「独裁国家」とされる中国は 3.32、ロシアが 2.94、最下位の北朝鮮は 1.08 などとなっています。

▼韓国と日本が 1 位と 2 位を分け合っている “flawed democracy” の日本語訳は「欠陥民主主義」という直訳より「不完全民主主義」とでも言った方が分かりやすいかもしれないですね。いずれにしても総合指数では韓国が 8.00 で日本が 7.99 というわけで、殆ど変わらない。要素を仔細に比較すると、韓国が日本より点数が高いのは「選挙と政治の二元性」(韓国 9.17 v 日本 8.75)、「市民の政治参加」(7.22 v 6.67)で、反対に日本の方が高いのは「政府機能」(8.21 v 7.86)、「市民的自由」(8.82 v 8.24)、同じなのは「政治文化」(両方とも 7.5)となっている。

▼ここでいう「市民的自由」(civil liberties)とは、基本的人権、表現・報道の自由、宗教・信条の自由のように「リベラル・デモクラシー」に欠かせない諸々の自由のことなのですが、トップのノルウェーの場合の「市民的自由」の指数は 9.71 だから日本や韓国よりも 1 点は高い。また「政治文化」(political culture)とは、自国の政治に対する姿勢のことで「従順」(obedient)や「おとなしい」(docile)という姿勢が勝っている(と EIU が思う)国の指数は低くなっている。この分野のノルウェーの指数は 10.00(満点)、日本と韓国はともに 7.50 となっています。